※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　政治・経済（第一学習社）						
副教材等	最新政治・経済資料集 2026（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校社会科公民的分野や公共の学習内容を土台に、教科書などを使用し、政治・経済的な見方・考え方を育成し、働かせる学習を行います。
世の中で起こっている事象を政治・経済の学習を通して理解していきましょう。

2　学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。
(3)よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章現代日本の政治・経済 第１節日本国憲法と現代政治のあり方 第２節望ましい政治のあり方と主権者とし	①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 ■諸課題へのアプローチ「現代政治のあり方」 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ「主権者としての政治参加のあり方」 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 ■諸課題へのアプローチ「外部不経済の内部化の方法」	a 政治や政治権力の意味とその役割について，理解している。 b 法の意義と機能について多面的・多角的に考察し，表現している。 a 法の支配や立憲主義の意味と意義について，理解している。 ・国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 基本的人権が確立した背景や経緯について，理解している。 b 個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 新しい人権が主張されるようになった背景や，新しい人権の具体的内容について，理解している。 a 人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか，理解している。 b 権利と義務との関係について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 民主政治の考え方と，議院内閣制や大統領制の特徴について，理解している。 b よりよい民主政治のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 国会の地位と構成について，理解している。 a 法律はどのようにして成立するのか，理解している。 b 国会の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 日本の内閣と国会の関係について，理解している。 a 内閣総理大臣と内閣の権限について，理解している。 b 今後の行政の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 司法権の独立と日本の裁判制度について，理解している。	定期テスト	定期テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

	ての政治参加のあり方 第３節市場経済の機能と限界		b 国民の司法参加のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 日本国憲法と現代政治のあり方との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a 地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度について，理解している。 b 地方自治における住民の権利と住民運動の意義について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 政党の意義と役割について理解している。 b 日本の政党政治や選挙の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b 望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a 経済の役割と，市場経済における人々の選択について，理解している。 a 資本主義経済の特質とその変容について，理解している。 b 価格はどのようにして決まるのか，具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し，表現している。 a 三つの経済主体の活動と，経済循環における役割について，理解している。 a 株式会社のしくみと株主との関係について，理解している。 b 企業の社会的責任のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a ストックとフローの概念や，GDPなどの指標について，理解している。 a 経済成長率における名目と実質の違いや，経済成長の要因			

※令和４年度以降入学生用

			について，理解している。 a インフレとデフレの原因と影響，景気変動のしくみについて，理解している。 a 物価や景気の変動に対する政府の施策について，理解している。 a さまざまな市場の失敗の事例と，その弊害について，理解している。 a 公害と消費者問題に対する施策について，理解している。 b 自立した消費者としてどのような行動をとるべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。 b 市場の機能と限界や解決のあり方について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c「市場経済の機能と限界」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

２学期	第４節持続可能な財政および租税のあり方 第５節金融を通した経済活動の活性化 第６節経済活動と福祉の向上	①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ 「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」 ①金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ 「資金の流れと起業における資金調達のあり方」 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ 「格差の理由とその対策」	a 財政の機能としくみについて，理解している。 a 租税の種類やその特徴について，理解している。 b 財政における国と地方の役割分担について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b 持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a 金融のはたらきと金融機関の役割について，理解している。 a 日本銀行の金融政策とその影響について，理解している。 b 現在の金融をめぐる動向とその課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b 金融を通した経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a 日本経済における産業構造の変化について，理解している。 a 現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 b 日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 労働三法の内容について，理解している。 b 現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a 日本の社会保障制度について，理解している。 b 日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b 経済活動と福祉の向上との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第2章現代の国際政治・経済 第1節国際法の果たす役割	①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」	a21世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 b国際社会の多極化や国際協力について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a国際法と国内法の違いや，国際法の種類や特徴について，理解している。 aさまざまな国際裁判とそのしくみについて，理解している。 b領土問題などの国際紛争の解決のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 a国際連合の機能と主要機関の役割について，理解している。 b 今日の国際情勢の変化を受けて，国際連合はどのような役割を強化するべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。 a国際紛争はどのような原因で起きるのか，理解している。 a紛争当事者の変化や，平和的解決のための取り組みについて，理解している。 b核兵器廃絶のために，どのような努力がなされてきたのか，多面的・多角的に考察し，表現している。 b国際法の果たす役割について，国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて，将来，国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か，多面的・多角的に考察し，表現している。 c「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

３学期	第２節国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割　第３節相互依存関係が深まる国際経済の特質第４節国際経済において求められる日	①日本の安全保障と国際貢献 ■諸課題へのアプローチ 「日本の国際貢献のあり方」 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の現状と課題」 ①国際経済における日本の地位と国際協力 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の安定と成長に向けた日本の役割」	a 平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について，理解している。 a 日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 b 国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a 比較優位の考え方や国際分業の利点について，理解している。 b 現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 a 国際収支統計の基本的な構成について，理解している。 b 国際収支の動向をもとに，日本の対外経済取引の現状について，考察し，表現している。 a 変動相場制における為替相場の決定のしくみについて，理解している。 a 日本の対ドル為替相場の推移と，日本経済の動向について，理解している。 a さまざまな国際経済機関の役割や課題について，理解している。 b 地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題について，考察し，表現している。 b 国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。 c「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a 国際経済における日本の地位について，理解している。 b 国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 c「国際経済において求められる日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

	本の役割					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度